

内閣総理大臣杯争奪
第39回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2010年5月4日 13時20分開始

敗者戦

東京体育館 B - 4

香川WBC
(四国)

55

20 1クォーター 16
16 2クォーター 16
9 3クォーター 16
10 4クォーター 11
0 延長 0

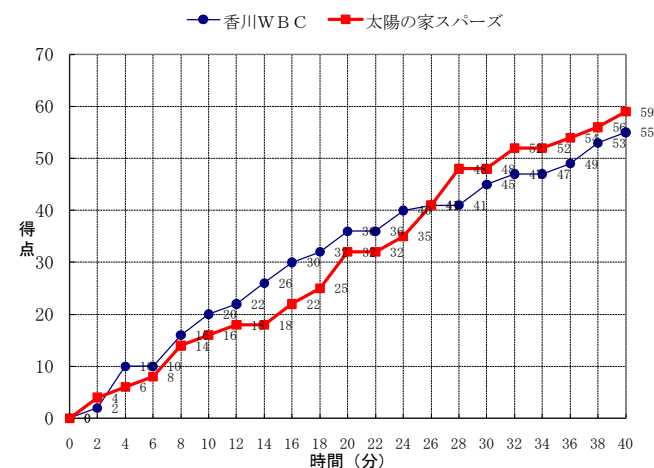
59

◎
太陽の家スパース
(九州)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	山内 昌幸 (1.0)	12	0	6	0	-	-	4	* 6	矢田 成昭 (2.0)	23	0	9	5	-	-	3
* 5	里坊 直彦 (4.5)	2	0	1	0	-	-	4	* 7	本田 昌士 (4.0)	16	0	6	4	-	-	1
6	能祖 学 (2.0)	4	0	2	0	-	-	3	* 8	宮本 晶 (4.0)	11	0	5	1	-	-	2
* 7	山地 慎吾 (1.0)	2	0	1	0	-	-	1	9	宮平 盛男 (1.0)	0	0	0	0	-	-	1
* 9	古田 裕明 (3.5)	25	0	12	1	-	-	4	* 10	松枝 幸大 (2.5)	7	0	2	3	-	-	3
10	田村 治仁 (2.0)	4	0	2	0	-	-	3	11	徳永 祐政 (3.0)	2	0	1	0	-	-	1
* 11	高木 一彰 (4.0)	6	0	3	0	-	-	4	* 12	田中 栄太郎 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0
12	溝渕 功 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-									
コーチ	岡田 健								コーチ	堀川 裕二							
Aコーチ	山内 智子								Aコーチ	徳永 祐政							
マネージャー	池田 知里								マネージャー	田中 琴海							
マネージャー	岡田 久美子								マネージャー	鶴田 弘美							
マネージャー									マネージャー								
合計		55	0	27	1	0	0	23	合計		59	0	23	13	0	0	11

主審： 久保田 一男
副審： 阿部 三男
副審： 庄司 健二

得点経過



〔戦評〕

(担当：武田／横矢／中川)

- 1Q：太陽の家が先制。ここから4分程一進一退の攻防でどちらも流れがつかめず。5分過ぎに香川が連続ポイントをあげ突き放す。太陽の家が追ってくるが、FTをものに出来なかったのが残念だった。1Qは高さを生かしたプレーで香川がリードして終了。
- 2Q：香川がミドルシュートで追加点で始まる。その後も太陽の家も7番の高さを生かしたセンタープレーで追い上げるが、ランニングシュートを外し、香川にカウンターを決められ第1Qの流れが続く。最後は引き離されそうになるも、太陽の家6番がカウント1スローも決め、4点差に踏みとどまり2Q終了。36-32。
- 3Q：後半開始2分は太陽の家が良いリズムで攻めるが、センター、ランニングシュートを決めきれず、逆に香川にチャンスを与えてしまう。40-32。ここでも太陽6番がカウント1スローを決め、5点差へ。4分T0。太陽7番の車イス故障により、高さでは苦しいが6番の3連続ポイントやFTを2本決め流れを引き込み同点へ逆転へ。6分40秒、たまたま香川がT0を取るが太陽のスピーディーな攻撃にディフェンスがついて行けず引き離される。8分41-48。香川はオフェンスでも2連続オフェンスチャージをしてチャンスをつぶしてしまった。香川も最後センターを生かし、45対48まで追い上げ終了。
- 4Q：最初は互いに1本ずつ決めるが、その後香川は焦りもあり、オフェンスチャージやミスが続く。太陽の家は点差を生かして時間をかけオフェンスをして追加点を上げていく。5点差、ラスト3分。香川は高さで勝り、リバウンドからランニングシュート、センタープレーで連続ポイントをあげ、2点差まで追い上げるが、太陽6番のカットからのシュートで4点差にされ、ゲームセットとなる。